

授 業 計 画

科目名 『 障害の理解 』		講師名 堀 智貴
		実務経験 (有) ・ 無
対象学科名 介護福祉士学科 2 年	授業の方法 講義	< 講 義 日 > 日程調整をして入れている
[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 ・映像や障害当事者に来ていただき、それぞれの障害のイメージを持たせる。 ・それぞれの障害種別ごとの身体的・心理的側面を踏まえた生活とそれに応じた支援を理解する。 ・障害のある人の地域生活を支える様々な社会資源・関係機関との連携や、関係職種とのチームアプローチのあり方を理解する。 ・国家試験を踏まえた復習も含む。		
[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ・それぞれの障害の生活のイメージがもてる。 ・障害者が抱える生理学的・心理側面の課題を抽出し、支援内容がイメージできる。		
[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 単元テスト		
[使用テキスト・参考文献] *使用した場合のみ 障害の理解 (中央法規)		[成績評価の方法・基準] 定期試験および授業態度、出席率を加味して総合的に評価する *評価基準は評価記入用紙による。

回数	授 業 内 容
1	シラバス説明、知的障害とは
2	知的障害ライフステージに応じた関わり
3	小テスト、精神障害とは
4	小テスト、高次脳機能障害
5	高次脳機能障害
6	小テスト、発達障害とは
7	発達障害
8	小テスト、難病（ALS、パーキンソン、リウマチ）
9	演習 3-1, 3-2、国家試験問題
10	単元テスト、地域サポート体制
11	小テスト、チームアプローチ
12	演習 4-1、演習 4-2
13	全体復習
14	障害のある人の地域生活を支える様々な社会資源・関係機関との連携や、関係職種とのチームアプローチ（3 事例）
15	定期試験、振り返り